



田中 義明 氏

吉田 尚樹 氏

松原 英樹 氏

(株)ビルドにて

## 座談会

# 中讃第3支部 発足までの道のりとこれから

### 【出席】

**吉田 尚樹 氏**

中讃第3支部支部長  
(株)ビルド／常務取締役

**田中 義明 氏**

中讃第3支部幹事長  
(有)田中電気／代表取締役

### 【司会】

**松原 英樹 氏**

広報・情報化委員会／副編集長  
(有)松原製本所／代表取締役

**中讃第3支部の立ち上げの目的について**  
**司会** この度は中讃第3支部の設立、おめでとうございます。早速ですが、中讃第3支部を立ち上げた目的から聞かせていただきますか。

**吉田** 中讃第2支部は、地理的に見ると、他の支部に比べて多くの地区に跨っています。丸亀、仲多度、善通寺、まんのう、琴平があります。行政との絡みや、同友会の地域に根ざした活動などを考えると、地理的に難しいものがあり、その関係で地域ベースに分かれた活動を目的にした法案が出かけたことがありました。

地域性の強い支部が将来的にできればいいなということ、中讃第2支部は、200名体制になったら支部を分けようという考えがありました。現在理事で環境経営委員長の小林氏が支部長のときに200名を超えたのですが、そのときはまだ、新支部発足への具体的な取組みはありませんでした。200名を超える大所帯になると、例えば例会や懇親会の会場の問題が出てきます。ビジョンとして200名で出席率50パーセントを目指すとなると、毎回100名規模の会場が必要になります。

一時期、300名の支部を目指したことがあったのですが、香川が今から2000名を目指す体制の中で、300名の支部は果たして現実味があるのか。それよりは、支部をより地域性の強い地区に割って、例えば150と50に分けた2つの支部で50名ずつ増やし、200名と100名なれば、2つの支部で300

名で同じことですし、その方が当初200名になったら支部を分けようというビジョンと、地域性がより強いことと、今回の第7次ビジョンに支部の再編、支部の人数に応じてより地域性の強い支部を検討しているという内容が盛り込まれていたもので、それも含めて、香川が活性化し、2025年に2000名体制になるためには、大きな支部を拡大するよりは、小さく支部を分けて地域性が強い方が会員の活性化に繋がるのではないかとこの考えが根幹にあります。

**司会** 中讃第3支部のベースになる地区はどこになりますか。

**吉田** たまたま私も会社が仲多度だったことと、メンバーとしては仲多度を軸にすると、同友会でも理解している役員が多かったことで、ベースとしてはやりやすいのではという考えがありました。

丸亀はもとも中讃第2支部のお膝もとなので、それ以外のエリアになつてくると、善通寺か仲多度ですが、善通寺は会員数が少なく、まんのう、琴平になつてくるともつと少なくなりません。ただ、旧仲多度という善通寺も全部含んでいるので、旧仲多度を中讃第3支部のベースの地区にして、会員の組織率の低いところで会員開発をして、将来的ビジョンは中讃第3支部の会員数が増えれば、善通寺と仲多度に分かれればいいかなという構想です。

## スタート時の障害

**司会** 今、中讃第2支部が約180名、

中讃第3支部は48名ですが、スタート時に障害などはありませんでしたか。

**田中** アンケートを取って、自分で選んで移っていたので、

で、とくに問題はなかったのですが、もともと中讃第3支部というのがあり、立ち上げから数年で解散した経緯があるので、その二の前にならないよう、どうやって運営していくに頭を悩ませたのが、障害といえば障害で、そのためにスタートが何年か遅れたわけです。

**司会** 支部設立までの大まかな経緯はわかったのですが、今後の参考のために、具



体的な手順を教えてください。

ますか。

**吉田** 中讃第2支

部の皆さんの中に

は、大きい方がいいという人が当然いました。なぜ少なくしないといけないのか、そんな意見もたくさんありました。一方、支部設立に関する規約がなく、14支部までどんな形で増えていったのか、その理由や経緯を知りたいと思ったのですが、わかりませんでした。

例えば、会員が何人揃えば支部設立がOKなのか、発起人の人数や資格の有無など、それに関する規約は一切なかったのですが、5人の発起人をつくり、支部の中で30名の移籍希望者があれば設立を、なければ支部設立は準備委員会として残しておく、会員が集まったら独立するという話になったのですが、30名を超える会員が集まったので、支部の役員会で承認し、代表理事会に提出するところまでいきました。



**困難より期待感が大きかった新支部設立**  
**田中** そうですね、大変だったことは、お金がなかったことです。(笑)中讃第2支部は県下で一番大きな支部だったので資金が多かったのですが、40名規模の支部を新しく立ち上げるとなると本当にお金に困りました。ただ、大変とか辛いというよりは、新しい支部を立ち上げるといふ期待感や高揚感がありました。自分たちで新しい支部をつくっていくんだという楽しみですね。そんな思いでした。辛いことは今も振り返ってもあまり思い浮かばないです。

12月に臨時総会を開催したとき、次期の支部長の選任と、支部立ち上げを諮りましたが、役員の皆さんは知っている人が多かったのですが、一般会員の中には、初めて聞いたという人が何人もいました。もちろん、事前にアンケートを出して、支部を分けるので移籍希望の有無を求めているのですが、理解していなかったようです。懇親会で、「ほんとうに大丈夫か」という意見を言う人が結構いました。もちろん「大丈夫です」と答えています。

**吉田** お金で困ったのは、設立総会の記念講演な中同協の松井氏に記念講演をお願いしたので、プレ報告をするので打合せ費用と、当日の費用が当然かかります。それを、繰越金の無い中でやっていかなければならないので大変でしたが、お金が無いのなら、人を増やすしかないかと、5年後に100名体制を目指そうとみんなで気持ちを新たにしました。中讃第2支部の繰越金を用立ててもらい、設立総



会を無事済ませましたが、とにかく支部の中で、例会報告ができるような人を育てていくような支部づくりが重要だと思っています。

**司会** 田中さんは新支部の立ち上げにどんな思いがありますか。

**田中** 私はもともと多度津で生まれて多度津で育って、多度津で会社をやっているの、多度津という町への思いがあります。常々、もう少し多度津が元気な町にならないかなとずっと前から思っていました。今回の新支部設立で、支部がこちら側に移る

ことはとても良い機会なので、是非一緒にやりたいと思います。取組みに参加させてもらいました。

**司会** 新しくできた中讃第3支部の方向性、これからどこを目指していくのか、改めてお話ししていただけますか。

**吉田** より地域性の強い支部であって、旧仲多度津エリアで、会員100名を目指していきたいと思っています。地域を元気にするためには、地元の企業が元気でないと、地域には貢献できないと思っています。私自身、企業を元気にするために、同友会の学びが一番だと身をもって感じているので、入会してもらい、同友会の活動で企業が元気になってくると、地域貢献など行政と取組み、活動ができると思っています。ですから、まず元気な会員企業の100名体制が目標です。入会してもらい、支部活動をしながら、いろいろな気づきがあつて成長してもらいながら、会員開発ができてくると、行政との繋がりも強くなるはずですよ。

**司会** 中讃第3支部の私のイメージ



は、限られたエリア、地域で発足して、とても熱くて、全員が力を合わせている。そんな印象ですが、実際はどうでしょう。

**吉田** 回答率は100パーセントをいっています。最初の役員会の出席率は約70パーセントだったので、これからも実績で示していくと、他支部の人たちにも支部を分ける意味がわかってもらえるのではないかと考えています。

ただ単に、新しい支部ができたというだけでなく、会員を増やし、参加率が上がれば、小さな支部の方が実績をつくりやすいことを、県に対してアピールができると思っています。

**司会** 吉田さんは、任期中にどんなことをしたいと考えていますか。

**吉田** 先ほどの繰り返しになりますが、100名体制を目指していきます。それがある程度軌道にのって、人数が増え、支部の中で小グループ活動ができるようになるまでやっていきたいです。とにかく焦らず一歩ずつ、長い目で将来を見つめて、設定した目標に向かって、皆で進んでいきたいと思っています。

**司会** ぜひ頑張ってください。最後になりましたが、会員の皆さんに向けてメッセージをいただけますか。

**吉田** 私は参加しないと意味がないと思っ  
ていますし、参加する何かしらの意味が同友会には絶対必要だと思っ  
ています。そのためには、新支部ができ  
たり、支部が14でなければならぬとい  
う決まりはありません。今の時代の

流れに支部も県全体でも拡大  
路線で進んでいるので、そん  
な中では新しい支部ができ  
たり、あるいは無くなったり  
する可能性はたぶんあると思  
います。ただ、現在の1600  
名の会員さんに、より活動しやす  
い場所が必要だと思っています。それ  
が、私の中では新しい支部だったとい  
う結果論です。

単に会員だけでなく、いろんなところ  
に参加してもらえなきゃいけないとして、新  
支部の設立や委員会活動があると受け  
止めています。もっと活性化してもら  
う。それがメインだと思います。

**司会** ありがとうございます。会員さ  
んが元気になるとか、出席率のアップに  
は環境づくりが大事だと思うのですが。

**吉田** 本来は、参加率が高いと人はおの  
ずと増えていきます。それが頭打ちして  
いるというのは、入ってもやめてしま  
う。参加していても来なくなる。そのど  
ちらかなのです。1600名の会員が25  
パーセントしか動いていないという実  
態がありますが、それが例えば、40から  
50パーセントにアップすると、人も自動  
的に増えていく体制が整うのではない  
かと思うので、そのきっかけとして、支  
部の再編が今後議論するきっかけにな  
ればと思っています。

また、同友会は多様性があり、いろん  
な世代の人が交わる会なので、新支部  
の設立には様々な意味で期待できる  
ところがあると受け止めています。



**司会** 田中さ  
ん、一言お願  
いします。

**田中** 私は立  
場的に支部長の  
補佐役ですが、支部

設立に関わって正直、地域のことを何  
も知らなかった自分に気が付きました。  
地元の多度津はもちろん、善通寺や琴  
平のことをもと知る努力をしないと肝  
心の会員開発ができません。まずはそ  
こからです。

**吉田** たしかにゼロからの取組みなの  
で、いろいろと難しい面があると同時  
に、発見の楽しみも多くあります。

**田中** もっともっと、それぞれの地区  
を勉強して、自分たちがそちらの方へ  
足を踏み入れていかなければと思っ  
ているので、しっかり勉強していきたい  
と思っています。

**司会** 本日は、ありがとうございます。5  
年で100名の会員達成、頑張っ  
てください。